

金賞 安喰 哲君

北海道名寄産業高等学校建築システム科

名寄えきよこ複合施設 SNOW CRYSTAL～（待ち時間を自由に過ごせる地元の巣）～

J R名寄駅に隣接する複合施設であるが、プログラムの組み立て方、空間構成、デザイン手法、構造の発想、表現手法にいたるまで完成度が高い。雪の結晶のイメージと構造の合理性を背景とするハニカムのデザインが印象的な作品である。施設のテーマは市民の居場所づくりであるが、市民の立場でまちが抱える問題を検討し、市民にとって必要な、まちにとって必要な「場所」のあり方を多くの議論を経て組み立ててきたプロセスが創造できる。作品の完成度の高さもあるが、建築設計として考えなければいけないプロセスがしっかりしており、それがうまく表現されていることから、審査委員満場一致で金賞に値すると判断した。この作品の工業高校の建築教育に与える影響は大きいと思う。ぜひ、幅広く建築教育関係者に見てほしい。

（文責：菅原 秀見）

